

令和6年11月1日発行



今月の表紙

昭和53年、第4回黒岩短縮マラソンでゴールテープを切る岡村選手です。(詳しくは次ページにて)
 この年は初の女性選手が参加したりと、大変盛り上がった大会だったそうです。
 今年は50回目の記念大会。短距離で争うティラノレースも開催されますので、長距離は苦手という方もぜひご参加を!

PICK UP CONTENTS

- P 2 【特集】第50回黒岩短縮マラソン
- P 4 高北病院
- P 5 かわせみからのおしらせ
- P 8 おしらせ
- P 18 ボタニカルニュース
- P 19 さかわ観光協会
- P 20 さかわ発明ラボNEWS
- P 22 地質館だより - 桜座 Information
- P 23 青山文庫だより
- P 24 としょかんだより
- P 25 さかわ学校だより - 佐川中学校



第1回のスタート(推定)、左から2番目が山本氏。ゼッケンから15人の参加だったとかがえる。

黒岩短縮マラソン第50回大会 2024・12・15開催

昭和49年、黒岩で初めての短縮マラソン大会が開催されてから50年が経ちました。当初は厳冬の1月中旬頃に「佐川町耐寒短縮マラソン」として開催されましたが、いつしか「黒岩短縮マラソン」となり、参加ランナーも250人を超えることがあるほどの大会となっています。

そもそもこの大会は、佐川町議会議長などを務めた、黒岩観光創業者・故山本廣太郎氏の提唱で始まりました。その当時バレーボール・ソフトボール・卓球といった球技で黒岩観光杯を開催していた山本氏は「地域の人々や子ども達にもっともっとと賞状を手にして欲しい」が日頃からの口ぐせでした。ある日「球技が苦手でも走るやったら...さらに大勢の人がスポーツを楽しみ、競技に参加できるろう」とマラソン大会開催を思いついたそうです。

第1回大会は、10kmのマラソンというカテゴリのみで、参加ランナーは山本氏を加えて十数名でした。大会終了後、7・8人のスタッフがコップ酒を手を慰労会のみねごとをしている時、酒がまわるにつれ全員で「この大会を続けていこう」と誓いあったそうです。

その後、回を重ねるごとに5km・壮年・女子・中学・小学などのカテゴリが増えていき、それこそ多くの賞状と賞品が授与されるようになってきたのです。

コースも「黒岩観光車庫前↓女川三叉路越知町↓庄田↓瑞応口↓スタート地点」から「黒岩中学前↓大田川橋↓庄田↓茶工場↓黒岩中学」に変わり、今の大会のかたちとなりました。



第4回 先頭争いをする岡村選手(右側)

大会には高校、大学、社会人で活躍した、またしている、多くのランナーも参加しています。
 中でも最も長い間破られていない大会記録を出したのが、故岡村博三選手(古畑出身・伊野商2年時)。
 昭和53年第4回大会で10kmを31分19秒で走破しています。
 当時、県下高校トップクラスのランナーとして知られ、のちに大学駅伝や高知工業陸上部監督として活躍された方で、黒岩では3度優勝しています。

大会最高記録

距離	カテゴリー	記録	氏名	所属等(当時)	記録大会
3km	小学5・6年男子	10分47秒	濱口 純平	日下小	第42 H28
	小学5・6年女子	11分00秒	弘光 美紅	稲生小	第38 H24
	中学1年男子	9分39秒	畠中 八起	香長中	第41 H27
	中学女子	10分12秒	澤本 沙久羅	香長中	第41 H27
5km	中学2・3年男子	15分50秒	西本 楓	香長中	第40 H26
	高校・一般男子	15分13秒	下八川 裕司	佐川陸上クラブ	第24 H10
	高校・一般女子	18分10秒	中田 奈美	高北病院	第24 H10
	ピットリタイムレース	誤差0秒	片岡利恵子		第49 R5
10km	高校・一般男子	31分19秒	岡村 博三	伊野商業高校	第4 S53
	高校・一般女子	38分13秒	森野 純夏	高知大学	第45 R1



参加受付
 11月22日
 まで

詳細・申込はこちら



第49回3kmの部 スタート

今大会から、2km小学生低学年の部が新設。
 50周年記念ティラノサウルスレースも開催されます。
 また、参加者全員にチャンス! 大会終了後のイベントの賞品もパワーアップしていますよ!